

病歴・就労状況等申立書(続紙)

No. 2 - 2 枚中

病歴状況	傷病名	広汎性発達障害(自閉スペクトラム症)
<p>記入する前にお読みください。</p> <p>○ 次の欄には障害の原因となった病気やけがについて、現在までの経過を年月順に期間をあげずに記入し、左側の空欄に通番を記入してください。</p> <p>○ 受診していた期間は、通院期間、受診回数、入院期間、治療経過、医師から指示された事項、転医・受診中止の理由、日常生活状況、就労状況などを記入してください。</p> <p>○ 受診していなかった期間は、その理由、自覚症状の程度、日常生活状況、就労状況などについて具体的に記入してください。</p> <p>○ 同一の医療機関を長期間受診していた場合、医療機関を長期間受診していなかった場合、その期間を3年から5年ごとに区切って記入してください。</p>		
<p>昭和・平成・令和 18年 4月 1日から 昭和・平成・令和 21年 3月 31日まで 受診した ・ 受診して()ない 医療機関名</p>	<p>左の期間の状況 (高校：15歳から18歳) 高校でも、相変わらず同級生や上級生とのコミュニケーションをとることが難しかった。文化祭や体育祭でクラスの催し物に力を入れる学校ではあったが、みんなで力を合わせて行動するということが理解できず、居心地が悪く、早く学校生活が終わって欲しいと思っていた。</p>	
<p>昭和・平成・令和 21年 4月 1日から 昭和・平成・令和 25年 3月 31日まで 受診した ・ 受診して()ない 医療機関名</p>	<p>左の期間の状況 (大学：19歳から22歳) 高校までとは違い、集団行動をあまり強制されなかったため、以前よりは、悩まずに過ごすことができた。学内では、一人で過ごすことが多かった。サークル活動に入ろうと思ったが、集団活動が馴染めず、入らずじまいだった。アルバイトなども、接客ではなく、単純労働を好んで引き受けた。人とかかわることなく、大学時代を終えることになった。</p>	
<p>昭和・平成・令和 25年 4月 1日から 昭和・平成・令和 28年 8月 19日まで 受診した ・ 受診して()ない 医療機関名</p>	<p>左の期間の状況 (就職：22歳から26歳) 東京のメーカーに就職。新人研修で泊まり込みであったが、個室ではなく、同僚との相部屋であったため、ひとりになる時間がなく苦痛であった。研修後、地方の工場勤務となる。業務の習得に同僚よりも多くの時間を要し焦りを覚える。更に職場の厳しい上下関係もあり、それがなかなか対応できず、大変なストレスを抱える。朝の出社の時間がくるのが怖く、不眠や死にたい気持ちに襲われた。</p>	
<p>昭和・平成・令和 28年 8月 20日から 昭和・平成・令和 30年 1月 20日まで 受診した ・ 受診して()ない 医療機関名 メンタルクリニックABC</p>	<p>左の期間の状況 (在職中：26歳から28歳) ストレスが溜まり、入社不能に。親の勧めもあり、メンタルクリニック ABCを受診、投薬治療を開始。会社はしばらく休職とした。投薬治療の結果、抑うつ症状は安定してきたが、未だ就労は困難と判断され、しばらく療養を継続。カウンセリングの結果、ストレスの原因は、発達障害に起因すると診断される。通院をしばらく続けたが改善が見られないので受診を中止。</p>	
<p>昭和・平成・令和 30年 1月 21日から 昭和・平成・令和 1年 5月 9日まで 受診した ・ 受診して()ない 医療機関名</p>	<p>左の期間の状況 (無職：28歳から29歳) 会社は、すでに退社しており、自宅療養を継続。何もする意欲もなく、引きこもり状態になる。経済的には、父母に依存する生活に。今後どうするか、目途がつかない状態が続く。</p>	

※裏面(署名欄)も記入してください。

<p>昭和・平成・令和 1年 5月 10日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名 XYZ大学医学部附属病院</p>	<p>左の期間の状況 (無職 : 29歳から30歳) 大学病院に発達障害に詳しい先生がいるとの噂を聞きつけ、令和元年5月からXYZ大学医学部附属病院に転院。障害に対する治療参加で月2回のペースで受診し、新薬の投与を受けた。しかし思ったほどの効果はなく、時間だけが過ぎていった。このままではいけない、何とかしなければと思ってはいるが、就労に対する恐怖心があり、行動ができない。又、人間関係は父母だけであり、外出しての買い物などもできない。家に引きこもっている状態である。</p>
<p>昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名</p>	<p>左の期間の状況</p>
<p>昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名</p>	<p>左の期間の状況</p>
<p>昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名</p>	<p>左の期間の状況</p>
<p>昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名</p>	<p>左の期間の状況</p>
<p>昭和・平成・令和 年 月 日から 昭和・平成・令和 年 月 日まで 受診した ・ 受診していない 医療機関名</p>	<p>左の期間の状況</p>

上記のとおり相違ないことを申し立てます。令和

※請求者本人が署名する場合、押印は不要です。

令和 2年 2月 25日

請求者 現住所 静岡県浜松市西区入野町〇〇〇番地

代筆者 氏名
請求者からみた続柄 ()

氏名 鈴木 太郎
電話番号 〇〇〇 — 〇〇〇〇 — 〇〇〇〇